



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

あした元気になあれ

長野市民病院広報誌

第3号

平成15年1月15日

長野市民病院 の理念

1. 命の愛おしさを大切に、人間味溢れる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



長野市民病院院内託児施設『ベビーハウスたんぼぼ』には、現在23名の保育児がいます。保育士は、和田敏美主任ほか3名、パートタイム6名の陣容で子供たちを預かっています。

年頭にあたって

病院長 長田敦夫



第3号)をお届けいたします。

新年明けましておめでとうございます。病院広報誌「あした元気になあれ」が昨年9月に創刊され、ここに新年号(通算

長期にわたる経済財政不況は好転の兆しがみえないまま新しい年を迎え、医療・福祉の分野でも患者負担の増、診療報酬の減等皆様も病院も双方痛みを強いられております。しかし私も市民病院として、市民・患者の皆様と手を携え病院の理念に沿って皆様に満足いただける医療をより一層実践すべく、年頭に改めて誓いたいと思います。すなわち医療の質の向上、安全で安らぎのある医療、情報開示、インフォームドコンセント、地域諸機関との機能分担と連携、第三者機関による病院機能評価の受審等がキーワードです。

この広報誌を通じて患者・市民の皆様と病院職員との交流が一層深まることを期待して、新年のご挨拶といたします。



アルコール性肝障害の治療はアルコールを止めることです。しかし、断酒ができなくて命を落とされる方もいます。アルコール性肝障害と診断されても断酒を止められない場合

アルコール性肝障害

肝臓のみの病変ではありません

消化器科科長 今井 康 晴

はアルコール依存症の状態になっている可能性があります。アルコール性肝障害を断酒の指導ができずに肝臓病としてのみ扱ってしまうと、アルコール多飲により断酒できないくらい悪くなった体調を断酒できないくらいに回復させてしまうだけで、精神的・身体的疾患としては次第に進行してしまいます。断酒のみが唯一の治療ですので、どうしても断酒できない場合はアルコール依存症の専

門家である精神科医の治療が必要となってきます。「GTP値が100単位以上となり、GOT値の上昇があればアルコール依存症が疑われる」と言われていますので、該当する方は断酒して下さい。アルコール性肝障害と診断されても断酒すれば肝障害はかなり軽快しますが、肝硬変まで進行していると完全には回復しないことが多く、また肝細胞癌が発生することがあるため年に1〜2回の血液検査、腹部画像診断の定期検査を受けることをお勧めします。適度な飲酒は薬効もありますが、自分自身で飲酒量のコントロールが難しい場合は節酒ではなく、周囲の人々に宣言して断酒をすべきです。



医療事故防止 職員研修

11月28日、今年度第一回目実施

医療事故防止対策委員会（宗像外科科長・委員長）では、職員が一丸となって医療事故を防止するため、平成13年6月からインシデントレポートの報告を各職場に義務付け、毎月報告内容を精査し、事故防止に役



職員を対象とした事故防止のための研修会

立てていますが、全職員を対象にした研修会を今後計画的に実施していきます。今年度の第一回の研修会が11月28日に実施され、百十八人の出席がありました。

研修会は、医療、看護、薬剤、診療放射線、検査の各部門の科長がそれぞれの分野での事故防止について、パワーポイントによる映像でわかりやすく説明しました。なお当院の取り組みについてはSBCニューズワイドでも放映されました。

この他、医療事故防止マニュアルを院内ランに掲載し、事故防止に万全を期していきます。

『患者様相談窓口』 を一月より開設

何でも気軽に相談を

医療や薬、看護、退院後の問題などについての悩みごとを今月から受けます。

相談に当たるのは、市民病院の長田院長、竹前副院長、多田薬剤科長、飯島総看護師長、ケースワーカーなどです。

医療相談は予約制ですが、それ以外の相談は毎日受け付けます。

セカンドオピニオン（主治医以外の医療専門家より現在の診断治療方針について意見を求める）に対する

職員短信

神経内科を増科

一月から長野市民病院では、新たに『神経内科』を増科しました。神経内科は歩行障害、しびれ、めまいなどを起こす脳・末梢神経の障害を扱う診療科です。精神科や心身症などを診療する心療内科とは異なります。

これにより診療科は21となりました。

* 診療日

毎週水曜日午前中（外来）

* 医師

山崎正志（長野赤十字病院）

なお四月からは信州大学の医師が担当します。

忘年会スナップ



催し物で優勝した4西病棟の皆さん

11月19日に実施 防災訓練

いざという時に市民病院自衛消防隊や職員がスムーズに活動が出来る、更に職員一人ひとりの防火意識を高めるために防災訓練が11月19日に実施されました。

平日の昼間に火災が発生したと想定して、通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練、救護訓練、報告訓練などあらかじめ決められたマニュアルに

添った形で訓練が行われ、職員等百人余りが無事体育館に避難しました。

長野市消防局柳原分署の前島分署長の講評では、「訓練とはいえメリハリをつけて真剣に取り組んで欲しい。避難確認は重複しないよう点検済みの部屋はそれとわかる表示をする。螺旋状の避難階段の避難口には、障害物を置かない。」などの指摘がありました。



職場紹介 3東病棟

赤ちゃんから百歳まで 小児と女性の混合病棟

3東病棟は小児科、婦人科、外科、整形外科の小児と女性の混合病棟です。時には男性患者さんも個室に入院されます。入退院が激しい病棟で、10人以上が入院という日もあります。患者様の年齢もさまざまで、生まれて数日の、名前もまだ決まらない赤ちゃんと100歳近い方が一緒に過ごしたこともありました。

プレイルームという憩いの場では、四季折々の飾りつけ、行事もしています。サンタさんやトナカイ、節分の鬼もやってきました。ピアノが得意な患者様がその腕前を披露してくださることも。小児科の某ドクターも実はお上手だとか…。

お元気に退院される患者様に支えられ、みんな笑顔でがんばっています！

3東スタッフ一同

相談も受け付けます。
受付 午前8時30分～11時・総務室内
午後1時～4時 ・総務受付

*相談項目

医療相談（予約制）
午後2時～4時、一日2人まで
・長田院長 月・水・金曜日
・竹前副院長 火・木曜日
看護相談 毎日 看護相談室
薬事相談 毎日 おくすり相談
コーナー
医事・福祉相談 毎日 医療相談室

進むCT・MR関連増築工事

3月末竣工 春には稼働

CT（コンピューター断層撮影装置）・MR（磁気共鳴断層撮影装置）増設等の工事が急ピッチで進められております。

これは市民病院が重点医療として、がん診療、脳疾患等の診断に

必要なCT検査、MR検査の待ち時間が約一ヶ月半もあることから、予約待ちの解消を図るのがねらいです。当院では、年間に約三千件の手術を行っていることから、手術をした患者様の術後のフォロー件数の増加も一因です。

平成13年度一年間のMRによる画像診断の検査・治療患者は、二千八百十五人、CTは七千六百九十七人で年々増えております。

CT・MR増設工事は、医療機器の購入も含めて総額八億六千七百万円の契約額です。

工事の個所は、病院建物の西北部に当り診療放射線部の北側です。

建物の延べ面積は、千三百二十一平方メートルで、一階にCT室二部、MR室一部、操作室、外来化学療法室などを設置します。二階は会議室、画像スタッフルーム、フィルム庫を予定しております。

工事期間は、三月までで四月以降新しいCT・MRを設置、試運転、調整を重ねて早い時期に稼働したいと考えております。

なお、将来は現在使用中のMRを更新する際に、この増築部分に集約する予定です。



急ピッチで進むCT、MR関連増築工事

医師人事異動

12月31日付	退職 眼科科長	永田 征士
1月1日付	新任 眼科医長	風間 淳
1月15日付	退職 呼吸器外科医長	椎名 隆之
1月16日付	新任 呼吸器外科医師	濱中 一敏

病診連携……

*当院では、地域医療機関との機能分担と連携の観点から、診療所（開業医）等からの紹介（紹介状持参）を積極的に受け入れています。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381 8551 長野市富竹1333 1
 TEL 026 295 1199
 FAX 026 295 1148
 ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院
 Nagano Municipal Hospital

発行人…長田敦夫
 編集…長野市民病院
 広報誌編集委員会